

【 議 事 録 】		作成
令和6年度 第2回 こども部会		松永
日時	令和6年8月14日（水）14:00-	
場所	広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）	
出席者	高橋（葛城社協）、家村（葛城こ若）、岡田・渡辺（葛城市）、粕谷（高田社協）、 佐藤・小野（しえ〜く）、秋本（ふわら）、横山・堀口・辻（高田市）、谷本（葛城育成会） 原田（西和養護）、田中（明日香養護）、玉井（香芝東中）、河内・西崎（どんぐり）、松崎（香芝市）、 小細・林（愛の集い）、藤原・山藤・大倉・古田・岸本・松永（広陵町） <div style="text-align: right;">*順不同*</div>	
次第	内容	
会長あいさつ	第2回こども部会の次第について説明。 奈良県高田子ども家庭相談センター こども支援課 乾課長のご紹介。	
研修	<p>『子育てに影響する親のトラウマへのアセスメントと介入 ～児童虐待相談の現場から～』</p> <p>＊児童虐待の現状と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は右肩上がり増加。10年間でおよそ3倍となっている。 ・奈良県内においてはH30より横ばいではあるが、高止まりしている状況であり、R4には1,639 件報告されている。死亡事例もあり、およそ5日に1名の乳幼児・児童が命を落としている。 <p>＊グループワーク① 事例検討</p> <p>「放デイの職員が6歳の男児（Aくん）の頬が赤く腫れていることに気づいた。母に叩かれたと言っている。母親は、言うことを聞かなかったので叩いた。Aくんは普段から言うことを聞かず、人前で怒鳴ることや食事を抜く事があると公言している。また母親は思い通りにならないとイライラし、注意されるとしばらく電話に出ないといったことがある。」</p> <p>以上の事例について検討。どのような対応をとるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの班に分かれ検討。受講者は、母親の公言できる事が強みであることに注目し母自身と向き合っていく、母親の相談先を検討し支援者を増やすこと、など母親との接し方に着目した。 ・乾課長からのフィードバックとして、まずは通告義務があるので通告をし、その後母親自身のしんどさに目を向けていくことが重要であるとのことだった。 <p>＊虐待の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待を受けること、目撃することでトラウマ（心的外傷）を抱えることになる。自己肯定感の低下や衝動性の制御困難など、認知面・情緒面・対人関係面等の中長期的に影響を及ぼす。また、子ども時代の逆境体験はメンタルヘルス不調や社会生活の問題などその後の健康、幸せに影響を与える。 ・逆境体験で得たダメージを軽減するためには、ポジティブな小児期体験（PCEs）で癒やしと回復を促す方法がある。しかし、トラウマを消すためにはかなりの労力と時間が必要である。 <p>＊保護者の理解と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待のリスク要因として、「養育環境（経済的困窮など）」「子ども（育てにくい子）」「保護者（被虐待経験など）」の3つがあり、それぞれが相互に作用し合っている。虐待の中には養育者自身がトラウマを抱え、適切な養育方法が分からないが他者との適切な関わり方も分からず頼れない、といった悪循環を起こすケースもある。 ・保護者支援にはトラウマインフォームドケアによる対応が求められる。トラウマインフォームドケアとは、トラウマの影響や回復への道筋を理解し、問題行動の要因がトラウマの症状であることを認識、適切に対応し再トラウマ化を防ぐものである。 	

	<p>*グループワーク②-1 事例をトラウマインフォームドケアで対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班対応方法について検討。受講者は母親の背景を探り対応する、自身も同じ経験をしてきたのではないかと考えた上で対応すると発表。乾課長は母親の怒りのスイッチを探り、仮に注意される事が支配されているように感じ不安定になることがスイッチであるならば接し方を変えるなど、母親が抱えるトラウマを深掘りし理解することが大切だと話された。 <p>*グループワーク②-2 家族のリスクと強みを把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一見リスクを多く抱えているように見える家庭のリビングを描いたイラストの中に、家庭の強みを見つけるワークを実施。問題を抱えるケースを対応する際には、「褒める」「認める」と言った肯定的なストロークから始めることが必要であり、強みを見つける力を養うことが重要である。
会長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・乾課長のご講演から学んだことを、担当する児童への関わり方だけではなく保護者支援にも活かしたい。 ・次回開催日時の案内
次回	R6年10月22日(水) 10:00- さわやかホール